

令和6年度 シラバス

教科	数学	科目	学年・類型	1年	必修・選択	単位数(週時数)	4
教科書	未来へひろがる数学1 (啓林館), 未来へひろがる数学2 (啓林館)						
副教材等	使いこなす数学1 (学宝社)、使いこなす数学2 (学宝社)						

学習の目標	各単元において、関心・意欲を高めるため、身近な日常生活での事象を取り上げつつ、数学的活動を充実させます。また、基礎・基本事項の定着と活用能力を伸ばすとともに、数学的な見方・考え方と生きる力の育成を目指します。
学習の方法	授業を通して、基礎的な知識の習得を図りつつ、より発展的な内容や、思考力を問う問題などにも触れ、「確かな学力」を育てましょう。また、日々の課題や週末課題などで、家庭学習習慣を定着させ、自分の学習目標を達成できるよう努力しましょう。
評価の規準	<p>1 知識・技能 用語や記号・特徴や性質などを知識として身に付け、それに基づき確かな計算ができ、数・式・グラフ・図形など数学的な事象を正確に処理し、表現する技能を身に付けている。</p> <p>2 思考・判断・表現 数学的な発想が豊かで、問題に対して様々な見方ができ、数学的な表現を用いて事象を相手にわかりやすく伝える力を身に付けている。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 授業内容に関心を持ち、授業中に適切にノートを取り、積極的に発表するなど意欲的に学習している。また、期限を守って課題を適切に処理できている。</p>
評価の方法	課題、提出物、考査の成績、小テスト、学習活動への取組の姿勢や態度などを、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。

	単元	主な学習内容
1 学 期	「未来へひろがる数学1」 第1章 正の数・負の数	正の数・負の数の意味を理解し、乗法の交換法則や結合法則を用いて四則演算ができるようにします。 文字を使って、数量の間の関係を一般的に表したり、計算法則を簡潔に表したりすることを通して、基礎的な処理の方法を身に付けます。
	第2章 文字の式	文字を含む式から、文字の値を求める方法を理解し、形式的、能率的に問題を処理できるようにします。
	第3章 方程式	文字を含む式から、文字の値を求める方法を理解し、形式的、能率的に問題を処理できるようにします。
2 学 期	第4章 変化と対応	具体的な事象から、比例や反比例の関係を見だし、その変化や対応の様子を理解します。
	第5章 平面図形	図形に対する直感的な見方や考え方を深め、基礎的な知識や技能を習得します。
	第6章 空間図形	空間図形に対する直感的な見方や考え方を深めるとともに、空間図形の性質について論理的に考えます。
3 学 期	第7章 データの活用	目的に応じて資料を収集し、表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようになります。
	「未来へひろがる数学2」 第1章 式の計算	事象の中に数量の関係を見出し、それを文字を用いて式に表現し活用する能力を伸ばすとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようになります。
	第2章 連立方程式	連立二元一次方程式について理解し、それを用いることができるようになります。

令和6年度 シラバス

教科	数学	科目		学年・類型	2年 (必修・選択)	単位数(週時数)	4
教科書	未来へひろがる数学2 (啓林館)、未来へひろがる数学3 (啓林館)						
副教材等	使いこなす数学2 (学宝社)、使いこなす数学3 (学宝社)						

学習の目標	<p>数学的な活動に対して興味、関心を示し、数と式、数量、図形などに関する基礎的な概念や法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を論理的に考察する能力を高めるとともに、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てます。</p>
学習の方法	<p>学習内容を理解するために予習・授業・復習のサイクルを大切にしましょう。授業では、先生の話「聞く」、分かりやすくノートに「書く」、積極的に挙手をして「発表する」ことが大切です。それでも分からない問題は先生や友達に聞き、分からないままにしないようにしましょう。</p> <p>そして、問題が解けるようになるために宿題を確実にして、間違えた問題や分からなかった問題を何度も見直すことが大切です。</p>
評価の規準	<p>1 知識・技能 用語や記号・特徴や性質などを知識として身に付け、それに基づき確かな計算ができ、数・式・グラフ・図形など数学的な事象を正確に処理し、表現する技能を身に付けている。</p> <p>2 思考・判断・表現 数学的な発想が豊かで、問題に対して様々な見方ができ、数学的な表現を用いて事象を相手にわかりやすく伝える力を身に付けている。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 授業内容に関心を持ち、授業中に適切にノートを取り、積極的に発表するなど意欲的に学習している。また、期限を守って課題を適切に処理できている。</p>
評価の方法	<p>課題、提出物、考査の成績、小テスト、学習活動への取組の姿勢や態度などを、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。</p>

	単元	主な学習内容
1 学期	<p>「未来へひろがる数学2」 3章 一次関数 4章 図形の調べ方 5章 図形の性質と証明</p>	<p>一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を身に付けます。</p> <p>基本的な平面図形の性質を見だし、平行線の性質を基にしてそれらを確認することができるようにします。</p> <p>平面図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察する能力を養います。</p>
2 学期	<p>6章 場合の数と確率 7章 箱ひげ図とデータの活用 「未来へひろがる数学3」 1章 式の展開と因数分解</p>	<p>具体的な事象についての観察や実験を通して、確率について理解できるようにします。</p> <p>箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取る能力を養います。</p> <p>文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形できるようにします。</p>
3 学期	<p>2章 平方根 3章 二次方程式</p>	<p>正の数の平方根について理解し、それを用いることができるようにします。</p> <p>簡単な二次方程式やその解法を理解し、二次方程式を用いて実際の問題を解決できるようにします。</p>

令和6年度 シラバス

教科	数学	科目		学年・類型	3年	必修・選択	単位数(週時数)	4.5
教科書	未来へひろがる数学3 (啓林館) NEXT 数学A・NEXT 数学I (数研出版)							
副教材等	使いこなす数学3 (学宝社) 青ナビ (あかつき) CONNECT 数学I + A (数研出版)							

学習の目標	方程式や関数、及び図形について、操作や実験などの活動を通して理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばします。また、具体的な事象を調べることを通して、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	学習内容を理解するために予習と授業を大切にしましょう。特に授業は、先生の話や「聞く」ことが大切です。分からない場合は、積極的に友達や先生に聞きましょう。 そして、問題が解けるようになるために宿題(使いこなす数学、日々の課題、週末課題等)を確実にして、間違えた問題や分からなかった問題を解き直すことが大切です。とにかく自分で問題を解くことが大切です。
評価の規準	1 知識・技能 用語や記号・特徴や性質などを知識として身に付け、それに基づき確かな計算ができ、数・式・グラフ・図形など数学的な事象を正確に処理し、表現する技能を身に付けている。 2 思考・判断・表現 数学的な発想が豊かで、問題に対して様々な見方ができ、数学的な表現を用いて事象を相手に分かりやすく伝える力を身に付けている。 3 主体的に学習に取り組む態度 授業内容に関心を持ち、授業中に適切にノートを取り、積極的に発表するなど意欲的に学習している。また、期限を守って課題を適切に処理できている。
評価の方法	課題、提出物、考査の成績、小テスト、学習活動への取組の姿勢や態度などを、「数学への関心・意欲・態度」、「数学的な見方や考え方」、「数学的な技能」、「数量や図形などについての知識・理解」の4つの観点から総合的に評価します。

	単元	主な学習内容
1 学期	「未来へひろがる数学3」 4章 関数 $y = ax^2$ 5章 図形と相似 6章 円の性質	関数 $y = ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見出し、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し、表現できるようにします。 図形の相似の概念を明らかにし、図形の性質についての理解を深め、相似の考えが活用できるようにします。 円周角と中心角の関係を理解し、それを用いて考察し、さらに、論理的に表現できるようにします。
2 学期	7章 三平方の定理 8章 標本調査 「数学A」 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形 「数学I」 第1章 数と式 第1節 式の計算	三平方の定理について理解し、それらを活用できるようにします。 標本の傾向を調べることで、母集団の傾向が読み取れることを理解し、その考え方を活用できるようにします。 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。
3 学期	第2節 実数 第3節 一次不等式 第4節 集合と命題	数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにします。また、式を多面的に見たり処理したりするとともに、一次不等式を事象の考察に活用できるようにします。

令和6年度 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰ・A・Ⅱ	学年・類型	4年 必修 ・選択	単位数(週時数)	6
教科書	NEXT 数学Ⅰ NEXT 数学A NEXT 数学Ⅱ (数研出版)						
副教材等	CONNECT 数学Ⅰ+A CONNECT 数学Ⅱ+B (数研出版) チャート式 解法と演習 数学Ⅰ+A チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B (数研出版)						

学習の目標	各単元について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てます。
学習の方法	授業と家庭学習を通して基礎的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。明確な学習目標を設定して努力することが大切です。CONNECTやチャート、週末課題などを通して数学的な見方・考え方を習得し、数学的に考察し、処理する能力を伸ばしましょう。
評価の規準	<ol style="list-style-type: none"> 知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。
評価の方法	<p>各学期の評価 上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行います。</p> <p>年間の学習状況の評価 「数学Ⅰ」 第1学期と第2学期の成績を総合して年間の学習成績とします。 「数学A」 第1学期と第2学期の成績を総合して年間の学習成績とします。 「数学Ⅱ」 第3学期の成績を年間の学習成績とします。</p>

	単元	主な学習内容
1学期	「数学Ⅰ」 第2章 集合と命題 第3章 2次関数 「数学A」 第1章 場合の数と確率	集合に関する基本的な概念を理解し、集合と要素の関係や集合どうしの関係について記号や図を用いて適切に表現することができるようにします。 2次関数とそのグラフについて理解し、数量の関係や変化を、2次関数を用いて表現できるようにする。 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。
2学期	「数学Ⅰ」 第4章 図形と計量 第5章 データの分析 「数学A」 第2章 図形の性質	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性が分かるようにします。統計の基本的な考えを理解し、それを用いてデータを整理・分析し、傾向を把握できるようにします。 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
3学期	「数学Ⅱ」 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式	整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにします。また、数の範囲を複素数まで拡張して、2次方程式及び高次方程式を解くことができるようにします。座標や式を用いて、基本的な平面図形の性質や関係を理解し、事象の考察に活用できるようにします。

令和6年度 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ・B・C	学年・類型	5年文系 必修 ・選択	単位数(週時数)	6
教科書	NEXT 数学Ⅱ NEXT 数学B NEXT 数学C (数研出版)						
副教材等	CONNECT 数学Ⅱ+B+C (数研出版) チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B+C (数研出版)						

学習の目標	各単元について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てます。
学習の方法	授業と家庭学習を通して基礎的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。明確な学習目標を設定して努力することが大切です。CONNECTやチャート、週末課題などを通して数学的な見方・考え方を習得し、数学的に考察し、処理する能力を伸ばしましょう。
評価の規準	<ol style="list-style-type: none"> 知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。
評価の方法	<p>各学期の評価 評価の規準を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行います。</p> <p>年間の学習状況の評価 「数学Ⅱ」 第1学期と第2学期末考査までの成績を総合して年間の学習成績とします。 「数学B」 第1学期と第2学期末考査までの成績を総合して年間の学習成績とします。 「数学C」 第3学期の成績を年間の学習成績とします。</p>

	単元	主な学習内容
1 学 期	「数学Ⅱ」 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 「数学B」 数列	三角関数、指数関数及び対数関数について理解し、関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにします。 簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにします。
2 学 期	「数学Ⅱ」 第6章 微分法と積分法 「数学B」 第1章 統計的な推測	具体的な事象の考察を通して微分・積分の考え方を理解し、それらを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようにします。 数学Ⅰで学んだ「データの分析」をさらに発展させ、データの一部からその全体を推測する方法を学びます。
3 学 期	「数学C」 第1章 平面上のベクトル 第2章 空間のベクトル	ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係についてベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにします。

令和6年度 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ・B・C	学年・類型	5年理数 必修 選択	単位数(週時数)	6
教科書	NEXT 数学Ⅱ NEXT 数学B NEXT 数学C (数研出版)						
副教材等	CONNECT 数学Ⅱ+B+C CONNECT 数学Ⅲ+C (数研出版) チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B+C チャート式 解法と演習 数学Ⅲ+C (数研出版)						

学習の目標	各単元について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てます。
学習の方法	授業と家庭学習を通して基礎的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。明確な学習目標を設定して努力することが大切です。CONNECTやチャート、週末課題などを通して数学的な見方・考え方を習得し、数学的に考察し、処理する能力を伸ばしましょう。
評価の規準	<ol style="list-style-type: none"> 知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。
評価の方法	<p>各学期の評価 評価の規準を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行います。</p> <p>年間の学習状況の評価 「数学Ⅱ」 第1学期と第2学期末考査までの成績を総合して年間の学習成績とします。 「数学B」 第1学期と第2学期末考査までの成績を総合して年間の学習成績とします。 「数学C」 第3学期の成績を年間の学習成績とします。</p>

	単元	主な学習内容
1 学 期	「数学Ⅱ」 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 「数学B」 第1章 数列	三角関数、指数関数及び対数関数について理解し、関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにします。 簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにします。
2 学 期	「数学Ⅱ」 第6章 微分法と積分法 「数学B」 第2章 統計的な推測	具体的な事象の考察を通して微分・積分の考え方を理解し、それらを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようになります。 数学Ⅰで学んだ「データの分析」をさらに発展させ、データの一部からその全体を推測する方法を学びます。
3 学 期	「数学C」 第1章 平面上のベクトル 第2章 空間のベクトル 第3章 複素数平面	ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係についてベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにします。 複素数平面において複素数の演算がどのように表されるかを理解し、複素数の計算を図形を用いて考察するとともに、図形の考察に複素数の計算を活用できるようにします。

令和年度 シラバス

教科	数学	科目	数学総合 数学総合2	学年・類型	6年・人文 (必修)・選択	単位数(週時数)	5
教科書	「西高の数学総合」自主教材						
副教材等	2025 共通テスト対策【実力養成】重要問題演習 数学(株式会社 ラーンズ) 2025 共通テスト対策【実力完成】直前演習 数学(株式会社 ラーンズ)						

学習の目標	<p>1 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B等の既習内容について理解を深め、それらを積極的に活用して、事象を数学的に考察し、処理する態度と能力を育てる。</p> <p>2 数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、既習内容を横断的に活用することで、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用できる態度と能力を育てる。</p>
学習の方法	<p>授業や課題を通して基礎的な知識の習得とその活用が図れるように、自分の学習目標を設定して努力することが大切です。問題を解くことを通して数学的な見方・考え方を習得し、数学的に考察し、処理する能力を伸ばしましょう。</p>
評価の規準	<p>1 知識・技能 6年次までで学ぶ数学の内容において、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p> <p>2 思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。</p>
評価の方法	<p>各学期の評価 上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、提出物、課題等を総合的に判断して評価します。</p> <p>年間の学習状況の評価 第1学期と第2学期の成績をもとに3学期の出席状況等も考慮し、年間の学習成績とします。</p>

	単元	主な学習内容
1 学 期	・総合問題	<p>数学Ⅰ・A等の既習内容について、基本的事項を確認し、事象を数学的に考察するための基礎知識を身に付けます。</p> <p>総合的な問題を通して、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B等の既習内容について、横断的に活用できる力を身に付け、国立大学2次試験に対応できるような数学的な能力を身に付けます。</p>
2 学 期	・総合問題	<p>総合的な問題を通して、知識の拡充と技能の習熟を図り、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B等の既習内容について、横断的に活用できる力を身に付け、事象を数学的に処理する能力を伸ばして、それらを的確に活用する力を身に付けます。</p>
3 学 期	・総合問題	<p>総合的な問題を通して、知識の拡充と技能の習熟を図り、事象を数学的に処理する能力を伸ばして、それらを的確に活用する力を身に付けます。</p>

令和6年度 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅲ・C・総合	学年・類型	6年・理数	必修・選択	単位数(週時数)	7
教科書	NEXT 数学Ⅲ、数学C (数研出版)、「西高の数学総合」自主教材							
副教材等	CONNECT 数学Ⅲ+C (数研出版) チャート式 解法と演習 数学Ⅲ+C (数研出版) 2024 進研[共通テスト]対策数学 重要問題集 数学 (株式会社 ラーンズ)							

学習の目標	<p>1 各単元について理解し、それらを積極的に活用して、事象を数学的に考察し、処理する態度と能力を育てる。</p> <p>2 数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、既習内容を横断的に活用することで、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用できる態度と能力を育てる。</p>
学習の方法	<p>授業や課題を通して基礎的な知識の習得とその活用が図れるように、自分の学習目標を設定して努力することが大切です。問題を解くことを通して数学的な見方・考え方を習得し、数学的に考察し、処理する能力を伸ばしましょう。</p>
評価の規準	<p>1 知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p> <p>2 思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。</p>
評価の方法	<p>各学期の評価 上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、提出物、課題等を総合的に判断して評価します。</p> <p>年間の学習状況の評価 第1学期と第2学期の成績をもとに3学期の出席状況等も考慮し、年間の学習成績とします。</p>

	単元	主な学習内容
1 学 期	<p>「数学C」 第4章 式と曲線</p> <p>「数学Ⅲ」 第1章 関数 第2章 極限 第3章 微分法 第4章 微分法の応用</p>	<p>2次曲線の性質を理解し、それらを図示したり、活用したりできるようにします。また、媒介変数表示や極方程式を利用して、考察できるようにします。</p> <p>関数について理解し、それを利用して方程式や不等式等の考察ができるようにします。数列や関数の極限について理解し、数学的な見方を広げ、関数を微分することなどの総合的な問題を通して、数学的スキルを高め、それらを活用できるようにします。微分して得られた導関数を利用し、様々な関数の特性を理解できるようにします。</p>
2 学 期	<p>第7章 積分法とその応用</p> <p>問題演習</p> <p>「数学総合」 総合問題</p>	<p>図形の面積や体積が定積分によって求められることを理解し、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにします。様々な問題を解くことにより、知識の習得とスキルの習熟を図り、事象を数学的に処理する能力を伸ばし、それらを活用できるようにします。</p> <p>総合的な問題を通して、知識の拡充とスキルの習熟を図り、事象を数学的に処理する能力を伸ばして、それらを横断的に活用する力を身に付けます。</p>
3 学 期	<p>「数学総合」 総合問題</p>	<p>総合的な問題を通して、知識の拡充とスキルの習熟を図り、事象を数学的に処理する能力を伸ばして、それらを的確に活用する力を身に付けます。</p>